

包括連携協定を結んだ九州ルーテル学院大の松本充右
学長（左）と県教委の越猪浩樹教育長

25日午前、熊本市中央区



教育活動推進 県教委と連携

九州ルーテル学院大

九州ルーテル学院大（熊
本市中央区）と熊本県教育

委員会は25日、教育活動の
推進に関する包括連携協定
を結んだ。

協定は、九州ルーテル学
院大の教員が、公立学校の
児童生徒や教職員らに特別
講義や講演を行うことなど
を定めた。

県教委側は、教職員によ
る講話を通じて、教員を目
指す九州ルーテル学院大の
学生を支援する。同大の学
生ボランティアが学校現場

で授業を支援する「KLC
子どもサポーター制度」を
公立校に周知する。

県庁であった協定締結式
では松本充右学長が「県内
の教育を充実させるために
大学の強みを生かしたい」。
越猪浩樹教育長は「大学の
専門性を学校現場に取り入
れることで学びの質が高ま
り、教職員の資質向上につ
ながる」と述べた。

（上野史央里）